

瑞浪市の農業

Agriculture of Mizunami City



新規就農者による肉用牛の飼育の様子

令和7年度版

瑞浪市経済部農林課

瑞浪市立家畜診療所

瑞浪市農業委員会

< 目 次 >

瑞浪市の概要	1
瑞浪市における農業関連統計の推移	2
農産物等直売所「きなあた瑞浪」	6
瑞浪市の特産品	8
地域農業経営基盤強化促進計画	11
令和7年度 農林課・家畜診療所・農業委員会 歳出当初予算一覧	12
農業生産基盤整備関係事業実績一覧 / 認定農業者の現状 / レクリエーション農園の現状	13
農地法許可件数一覧表 / 農地転用状況一覧表	14

瑞浪市の概要

瑞浪市は、昭和29年4月に旧土岐郡及び恵那郡の7町村の合併により、面積174.86km²、人口36,204人の新生市として誕生しました。

本市は、岐阜県の南東部に位置し、名古屋市から約40kmの距離にあり、名古屋都市圏の一翼を担っています。また、市域面積の約70%を森林が占め、豊かな自然景観を呈しています。

人口は、35,016人（令和7年4月1日現在）で、平成14年をピークに減少に転じました。年代別人口構成では、65歳以上の高齢化率が約32.56%となり、国の人口予測より高齢化が進んだ状況となっています。

地形は、市域の多くが丘陵地からなり、本市の中央部を西流する土岐川とその支流ごとに農地が展開されているなど、典型的な中山間地の特色を示しています。

気象は、梅雨、秋雨の二時期に降水量のピークがある太平洋側気候区に属し、年間を通して比較的温暖で動植物の生育環境が整っています。

交通の面は、JR中央線、中央自動車道や国道19号・363号を軸とした交通網が整備されています。また、瑞浪恵那道路の建設など、新たな交通網の整備も進められています。

農業分野においては、企業的養鶏や肉用牛生産が盛んで、農業生産額の大半を畜産部門が占めています。稲作も盛んではあるものの、中山間地特有の狭小で不整形な農地が多く、利用集積がなかなか進んでいない状況です。加えて、農業従事者の高齢化と担い手不足の進行により、耕作放棄地の増加等の問題も深刻化しています。

こうしたことから、本市では、農作業の効率化を図るため、ドローンによる農薬散布などのスマート農業が、集落組織や営農組合で導入されています。

さらに、農業経営の安定化のため、転換作物としてキュウリやトマト、自然薯といった面積当たりの収益性が高い作物が多く栽培されています。また、耕作放棄地対策として、マコモやエゴマの栽培も行われています。

一方、本市が農業振興及び地域活性化を目的に平成24年に建設した農産物等直売所「きなあた瑞浪」は、地元農産物と特産豚肉「瑞浪ボーンポーク」の販売拠点であるとともに、本市の観光拠点ともなっています。また、令和2年度には、「瑞浪ボーンポーク」を使用したハムやソーセージなどを製造・販売する「ボーンポークハム工房“瑞浪”」、令和5年度には、バーベキュー広場もオープンするなど、更なる地産地消の促進と地域活性化を目指しています。

瑞浪市における農業関連統計の推移

資料：第68次東海農林水産統計年報（令和2～3年）、第63次東海農林水産統計年報（平成27～28年）、第58次東海農林水産統計年報（平成22～23年）（以下、総称して「農林水産統計年報」）、2010年世界農林業センサス、2015年世界農林業センサス、2020年世界農林業センサス（以下、総称して「農林業センサス」）、国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」（以下、「市区町村別面積調」）、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」（以下「住民基本台帳調査」）、市農林課資料、瑞浪市立家畜診療所資料、瑞浪市農業委員会資料
表中の比率（％）は小数第2位を四捨五入して記載

1 面積

年度	総面積（ha）	耕地（ha）	比率	田（ha）	畑（ha）
H 2 3	17,500	863	4.9%	711	152
H 2 8	17,486	826	4.7%	682	144
R 3	17,486	781	4.5%	640	141

資料：農林水産統計年報、市区町村別面積調

2 農家戸数

年度	総世帯（戸）	農家数（戸） 比 率	内 訳			
			専業（戸） 比 率	第一種兼業（戸） 比 率	第二種兼業（戸） 比 率	自給的農家（戸） 比 率
H 2 3	14,302	1,399	35	64	278	1,022
		9.8%	2.5%	4.6%	19.9%	73.1%
H 2 8	15,118	1,220	25	48	258	889
		8.1%	2.0%	3.9%	21.1%	72.9%
R 3	15,451	1,007	13	21	193	780
		6.5%	1.3%	2.1%	19.2%	77.5%

資料：農林水産統計年報、住民基本台帳調査、農林業センサス

3 人 口

年度	総人口 (人)	農業就業人口		年齢別農業就業人口								
		(人)		15～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
H 2 3	40,020	比率	1.3%	4.7%	0.2%	0.4%	0.6%	1.4%	2.9%	5.9%	10.5%	73.4%
		512		24	1	2	3	7	15	30	54	376
H 2 8	38,968	比率	1.1%	2.2%	1.0%		0.2%	0.7%	2.6%	4.3%	12.0%	76.9%
		416		9	4		1	3	11	18	50	320
R 3	36,985	比率	1.3%	3.9%	4.7%		6.2%		13.2%		11.8%	60.2%
		485		19	23		30		64		57	292

資料：農林水産統計年報、住民基本台帳調査

4 経営耕地規模別経営体数

単位：ha、経営体

年度	経営耕地 なし	0.3 未満	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～ 20.0	20.0 以上	合 計
H 2 3	12	2	198	126	23	9	7	10	2	1	2	392
H 2 8	13	1	142	135	29	8	8	9	2	0	2	349
R 3	12	5	102	83	16	9	6	6	4	1	2	246

資料：農林水産統計年報、農林業センサス

5 家畜飼養戸数及び頭羽数

年度	乳 用 牛		肉 用 牛		豚		採 卵 鶏		ブロイラー他	
	戸数（戸）	頭数（頭）	戸数（戸）	頭数（頭）	戸数（戸）	頭数（頭）	戸数（戸）	羽数 （千羽）	戸数（戸）	羽数 （千羽）
H 2 3	8	283	17	1,011	1	X	8	1,663	5	226
H 2 8	5	129	11	569	1	X	5	1,703	5	225
R 3	1	X	9	603	1	X	5	1,642	5	363

資料：瑞浪市立家畜診療所資料
 ※農家戸数が1戸の場合は、頭数のデータ公開を行わない

6 利用権設定面積の推移

<div> <div>項目</div> <div>年度</div> </div>	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
耕地面積 ^{（※1）} （ha）	826	816	805	805	793	781	776	764	754
設定面積（ha）	110.7	106.1	106.9	107.4	97.8	104.3	105.3	107.2	158.4
設定率（％）	13.4	13.0	13.3	13.3	12.3	13.4	13.6	14.0	21.0
借り手実数（人）	66	57	62	62	54	67	70	59	51
貸し手実数（人）	468	371	425	427	391	432	431	450	606

資料：瑞浪市農林課資料
 （※1）耕地面積は東海農政局「耕地面積及び農作物市町村別統計」による

7 イノシシによる被害の推移

年度 項目		H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
被害戸数（戸）		16	28	5	17	8	8	9	16
被害筆数（筆）		27	36	12	51	16	21	17	36
被害面積（a）		187.2	283.5	51.9	342	96.3	137.8	140.7	231

資料：岐阜県農業共済組合東濃支所資料

8 有害鳥獣捕獲・特定外来生物防除の状況

年度 種類		H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
有害鳥獣捕獲	イノシシ	694	686	96 (264)	125 (605)	141 (210)	205 (335)	261 (192)	422 (192)
	ニホンジカ	6	12	43	5	8	5	35	101
	カラス	0	0	0	0	0	0	0	0
生特 物定 防外 除来	アライグマ	26	21	8	26	8	10	16	17
	ヌートリア	0	0	0	0	0	0	0	0

資料：瑞浪市農林課資料

※（ ）内は、イノシシの調査捕獲数

農産物等直売所「きなあた瑞浪」

「きなあた瑞浪」は、「農家の庭先モール」というコンセプトのもと、農業振興及び地域活性化、“安全・安心・新鮮”な地元農産物等を販売する場の確保を目的として、平成24年6月に建設した農産物等直売所です。

直売所を通じて、地産地消や食育に関する周知、農産物等の生産販売や加工に取り組む農業者が育つ環境づくりを目指しています。

直売所では、市内農業者を中心とする生産者により出荷された、数多くの野菜をはじめ、特産豚肉「瑞浪ボノポーク」、瑞浪市産の卵や蜂蜜なども販売され、令和6年度には、延べ456,888人の方が来場されました。

直売所に農産物等を出荷する場合は、きなあた瑞浪出荷者協議会に登録する必要があり、令和6年度の登録者は、215名（市内140名・市外75名）です。

出荷者を育成するため、JAとうと主催で「みずなみ野菜づくり塾」が開催され、令和6年度の受講生は、ナスやトマト、ダイコンなど季節の野菜の栽培に取り組みました。



農産物等直売所「きなあた瑞浪」店内



令和6年度みずなみ野菜づくり塾の様子

●ボノポークハム工房「瑞浪」

令和2年度に、「瑞浪ボノポークを使用した加工品を販売してほしい」「瑞浪市産の野菜を使用したソーセージなどを販売してほしい」といった要望を受けて、直売所の敷地内に農畜産物加工施設「ボノポークハム工房「瑞浪」」を建設しました。

店内では、ハムやベーコン、市内で生産された野菜（ニンニクや唐辛子など）を使用したソーセージなど数多くの加工品が販売されているほか、カフェも併設され、令和6年度は、延べ37,470人の方が工房に来場されました。



ボノポークハム工房「瑞浪」店内



ソーセージの製造

●きなあた農園

きなあた農園は、農業体験を通じて多くの方々に農業に興味を持っていただくことを目的として開設されました。

農園では、農業関係者の指導・協力のもと、トマトやキャベツ、サツマイモなどの植付体験や収穫体験といった地産地消や食育を広く周知する活動が行われています。



きなあた農園



サツマイモの収穫体験の様子

●バーベキュー広場

地元農産物の更なる消費拡大を目的に、令和5年度に直売所敷地内にバーベキュー広場がオープンしました。

バーベキュー広場では、特産豚肉の「瑞浪ボーノポーク」や飛騨牛、地元野菜などが提供され、令和6年度には延べ2,657の方が来場されました。



バーベキュー広場



バーベキュー広場で提供される地元農産物

瑞浪市の特産品

●瑞浪ボーノポーク

本市では、平成 23 年度から霜降り豚肉「瑞浪ボーノポーク」のブランド化及び「瑞浪ボーノポーク」を使用した特産品の開発に取り組んでいます。

1. 【瑞浪ボーノポークとは】

「瑞浪ボーノポーク」は、瑞浪市大湫町に農場を持つ有限会社カタノピッグファームと岐阜県が、独立行政法人農業生物資源研究所及び農林水産先端技術農業振興センターが共同開発した、豚肉の霜降り割合を増加させる能力を持つデュロック種豚「ボーノブラウン」を母豚に交配し、生産した肉豚です。

この肉豚には、日本農産工業株式会社と岐阜県が共同開発した、抗酸化能とオレイン酸を多く含む植物性原料を使用し、アミノ酸バランスを調整した専用飼料を与え、肉質を追及しています。

ロース部位のカット面を1頭ずつ観察し、肉色が良好で、霜降り割合が基準を満たした枝肉のみが「瑞浪ボーノポーク」として認証されます。

「瑞浪ボーノポーク」は、平成24年4月に商標登録が完了し、ブランド化の推進、販路の拡大に取り組んでいます。

2. 【瑞浪ボーノポークの特徴】

- ① 平均霜降り割合が一般的な豚肉（3.2％）の約2倍（6.1％）です。
- ② 脂肪の融点^{注1}が一般流通豚肉よりも5℃ほど低く、ドリップロス^{注2}についても一般流通豚肉よりも30％近く低減しています。（岐阜県畜産研究所調べ）

^{注1} 脂肪融点が低いと、脂が早く溶け出し、一般的にあっさり感があるといわれています。

^{注2} ドリップロスとは、肉から肉の旨味が逃げてしまうことで、低減することが望ましいと考えられています。



●エゴマ

エゴマは、シソ科の一年草で、大葉（青シソ）の仲間です。飛騨地方では、アブラエとも呼ばれ、味噌や五平餅のタレなどに混ぜて使用されています。葉の独特な香りは韓国でも好まれ、サムギョプサルなどの肉料理と一緒に食されます。

大葉と同じように葉も食用にできますが、近年では、種から搾ったエゴマ油には多くのオメガ3脂肪酸（ α -リノレン酸）が含まれ、健康食品として需要が高まっています。

エゴマは、獣害が少ない作物で、基本的に施肥の必要も無く、半日陰でも育ちます。一方で、エゴマが大きくなるまでに多くの水が必要であること、雑草が繁茂すること、収穫適期には風で落粒してしまうことから収穫率が芳しくありません。

こうしたことから、市内の営農組合では、雑草の管理と水分の蒸発を防ぐためにマルチシートを使用し、農薬を使用しない栽培方法で約2haの作付けを行っています。

本市では、生産方法や加工技術が確立されることで、エゴマが市内全域で転作作物の一つとして栽培されるよう支援しています。



エゴマ畑



エゴマとエゴマ油

●ニンニク

ニンニクは、ヒガンバナ科ネギ属の多年草です。球根（鱗茎）を香味野菜として食用にするほか、茎も「ニンニクの芽」（トウ）と呼ばれ、野菜として調理されます。

栽培適温は18～20℃で、植付けは9～10月、収穫は5～6月に行うのが望ましいとされており、植付けから収穫までは240日ほどかかります。

本市で生産されたニンニクの一部は、付加価値を高めるため、高温多湿な環境で1ヶ月ほど熟成させ、一部の成分が変化し黒く変色した「黒ニンニク」に加工、販売されています。

本市では、高収益な転換作物の1つとしてニンニクを推奨しています。販売単価が安定しているニンニクは、経営の安定化を見込めます。



ニンニク畑



ニンニク

●マコモ

本市では、平成18年度より転換作物の1つとして「マコモ」の栽培を推進しています。マコモは、イネ科の多年草で、黒穂菌の作用により茎の部分が肥大したものが「マコモタケ」として食されます。東アジアや東南アジアに広く分布し、日本でも全国の河川や湖沼の水辺に群生しているのを見られ、草丈は2～2.5mにもなります。

マコモの定植時期は、4月下旬～5月下旬で、9月中旬以降より霜が降りるまでの間に収穫します。マコモタケは、食物繊維を多く含み、タケノコに比べると水分含有量が多く、低エネルギーです。シャキシャキとした食感が特徴で、生食のほかに煮る、炒める、揚げるなど調理法は多彩であり、中華料理店や料亭で高級食材として利用されています。

マコモタケは、乾燥に弱く、常温保存に向かないため、加工品の開発も進められています。現在では、マコモタケを使用したカレーやマコモの葉を使用したマコモ茶、ジェラートなどが製品化されています。



マコモタケの田植え



マコモタケ

地域農業経営基盤強化促進計画

近年、高齢化・人口減少が本格化する中で、農業者の減少や耕作放棄地の拡大がさらに加速し、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念されています。

こうした状況を踏まえ、本市では、地域農業の将来の在り方などを明確化した人・農地プランを令和2年度に作成・実質化しました。

令和6年度に、人・農地プランを土台として、将来の担い手をイメージした目標地図を加えた、「地域農業経営基盤促進計画」（以下「地域計画」という）を作成しました。

この地域計画は、将来、地域の農地を誰が利用し、どうまとめていくか、地域農業をどのように維持・発展していくかについて、農業者をはじめとした地域の方々と話し合い作成する、将来の農地利用の姿を明確化した設計図となります。

地域計画の作成にあたり、市内に農地を所有している方や集落組織を対象として、農地の管理意向や貸出意向についてアンケート調査を実施し、その結果をもとに、市内を明世・土岐・釜戸・大湫・稲津・陶・日吉の7地区に分割し、地域計画の検討会・意見交換会を開催しました。

検討会・意見交換会では、認定農業者などの農地の担い手や、各地区の住民と地域農業のあり方や、誰が農地を利用するかなど話し合い、出された意見を反映した地域計画の作成を進めました。

地域計画により、市内農地の現状や今後の目標を明らかにすることで、農地の更なる集積・集約化に繋げ、耕作放棄地の発生などの農業上の課題解決を目指します。



検討会の様子



意見交換会の様子

令和7年度 農林課・家畜診療所・農業委員会 歳出当初予算一覧			
一般会計			単位：千円
項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
農業委員会費	19,600	19,093	507
農業総務費	47,422	58,345	△ 10,923
農業振興費	72,144	74,538	△ 2,394
畜産業費	2,410	2,012	398
家畜診療所費	18,150	16,609	1,541
農地費	79,129	46,340	32,789
林業総務費	6,100	6,741	△ 641
林業振興費	78,000	61,092	16,908
公有林整備事業費	2,045	1,964	81
合 計	325,000	286,734	38,266

農業生産基盤整備関係事業実績一覧

事業名称	実施地区数	施工面積 (ha)	事業期間等
新農業構造改善事業	5	17.9	S58～S63
県単ほ場整備事業	10	61.1	S49～H1
団体営ほ場整備事業	7	219.8	S49～H2
畜産環境整備事業	1	12.4	S53～S54
地域農政特別対策事業	1	9.2	S53～S54
小規模排水対策特別事業	4	48.5	S56～H2
水田農業確立対策特別型	1	5.2	H3～H4
県営ほ場整備事業 (日吉南部地区)	1	98.0	S58～H8
団体営ほ場整備事業 (深沢地区)	1	25.5	H4～H9
県営中山間地域農村活性化総合整備事業 (瑞浪東部地区)	5	37.5	H20～H25
中山間地域総合整備事業 (瑞浪中部地区)	2	13.7	H26～R5
合 計	38	548.8	

認定農業者の現状

(令和7年4月1日現在)

計画農家数 (戸)	認定農家数 (戸)	認定率 (%)
14	14	100

他

広域認定・・・6

認定新規就農者・・・2

レクリエーション農園の現状

(令和7年9月1日現在)

農園数	区画数	面積 (ha)	備考
21	213	1.04	利用者数79名 管轄は農業委員会 1年契約

農 地 法 許 可 件 数 一 覧 表

単位：件

<div style="text-align: center;">年 区分</div>	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
第 3 条	3 2	2 2	1 4	3 4	3 9
第 4 条	1 5	8	8	1 0	6
第 5 条	7 4	8 2	5 4	8 7	5 2
計	1 2 1	1 1 2	6 2	1 3 1	9 7
説 明 （農地法抜粋）					
農地法第 3 条	農地又は採草放牧地について所有権を移転し、又は地上権、永小作権、質権、使用貸借による権利、賃借権若しくはその他の使用及び収益を目的とする権利を設定し、若しくは移転する場合には、当事者が農業委員会の許可を受けなければならない。				
農地法第 4 条	農地を農地以外のものにする者は、都道府県知事の許可を受けなければならない。				
農地法第 5 条	農地を農地以外のものにするため又は採草放牧地を採草放牧地以外のものにするため、これらの土地について（農地法）第三条第一項本文に掲げる権利を設定し、又は移転する場合には、当事者が都道府県知事の許可を受けなければならない。				

農 地 転 用 状 況 一 覧 表

単位：ha

年	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
面 積	6 . 0	6 . 1	2 . 7	6 . 6	3 . 6

瑞浪市の農業

発行：瑞浪市経済部農林課

瑞浪市立家畜診療所

瑞浪市農業委員会

〒509-6195 岐阜県瑞浪市上平町1丁目1番地

TEL：0572-68-9800（直通）

発行年月：令和7年12月